【実用化展開型　300万円/件】

2025年度 医療技術研究開発助成申請書

# 履歴書・研究概要書

|  |
| --- |
| 〇申請書類の提出方法について  申請書類一式をPDF形式に変換し、１ファイル(PDF)にまとめた上で提出して下さい。  ファイル名は「（実用化展開型）研究開発助成申請書\_氏名」として下さい。 |

［基本情報］ 　　　　　※西暦で記載（以下全て同じ）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 所属・役職 | | xx大学大学院xx研究科 xx |
| ふりがな | | きき　たろう |
| 氏　　名 | | 機器　太郎 |
| 生年月日 | | xxxx年xx月xx日（2025年4月1日時点　満　xx　歳） |
| 学　　位 | | 取得学位：XX　　（xxx）　　取得時期：xxxx年xx月　(取得見込みの場合チェック □) |
| 所属機関 | 住　　所 | 〒xxx-xxxx　 xxx県xxx市xxx町xxx |
| 電　　話 | xx-xxxx-xxxx |
| E-mail | xxxxx@xxx.ac.jp |

※連絡先は全て所属機関に関するもの

［教育歴］大学入学以降から記載

|  |  |
| --- | --- |
| 時　期 | 名　称（卒、修了等） |
| 年　　月～　　　　年　　月 |  |
| 年　　月～　　　　年　　月 |  |
| 年　　月～　　　　年　　月 |  |
| 年　　月～　　　　年　　月 |  |
| 年　　月～　　　　年　　月 |  |
| 年　　月～　　　　年　　月 |  |

［研究歴・職歴］

|  |  |
| --- | --- |
| 時　期 | 名　称（肩書き等まで） |
| 年　　月～　　　　年　　月 |  |
| 年　　月～　　　　年　　月 |  |
| 年　　月～　　　　年　　月 |  |
| 年　　月～　　　　年　　月 |  |
| 年　　月～　　　　年　　月 |  |
| 年　　月～　　　　年　　月 |  |

※申請者についての確認事項（該当するものにチェック）

　研究開始時の2025年4月1日において満40歳未満の研究者である

　学位取得後10年未満の研究者である

応募課題名（40文字以内）

|  |
| --- |
| ○○における○○○を目指した○○○○に関する研究 |

［応募分野］　いずれかにチェック

　① 日常生活における健康無関心層の疾病予防、重症化予防に資する医療機器

　➁ 予後改善につながる診断の一層の早期化に資する医療機器

　➂ 臨床的なアウトカムの最大化に資する個別化医療に向けた診断と治療が一体化した医療機器

　➃ 高齢者等の身体機能の補完・向上に関する医療機器

　➄ 医療従事者の業務の効率化・負担軽減に資する医療機器

　⑥ 次世代の医療機器開発・生産に資する要素技術・部品・部材の開発、製造基盤

# 研究概要（研究計画書の概略を500文字以内）

|  |
| --- |
|  |

助成期間終了後の開発構想の概要（助成期間終了後の開発構想の概略を200文字以内）

|  |
| --- |
|  |

# 研究計画書

「○○における○○○を目指した○○○○に関する研究」

|  |  |
| --- | --- |
| 所属機関名 | ○○大学○○研究科 |
| 申請者名 |  |

|  |
| --- |
| 下記1.～6.を含め6～8ページ以内（フォントサイズは10.5ポイント）にまとめて下さい。  選考委員に研究の内容や意義・必要性が伝わるような研究計画書を作成して下さい。 |

1. 研究の背景及び当該研究計画に関して現在までに行った研究実績、必要性及び特色・独創的な点

* 最終的に目指している医療機器・技術、［応募タイプ］、［応募分野］との関係や、研究の背景など、なぜこの研究を行う必要があるのかを記載
* 当該研究の特色・独創的な点について、国内・国外の他の研究でどこまで明らかになっており、どのような部分が残されているのか、これまでの研究との相違点を踏まえて記載

1. 本助成において達成したい研究の目的

* 基礎的段階の研究開発を次の開発段階へステップアップさせるための当該研究計画に絞った研究の目的を明確に記載

1. 研究方法・計画

* 具体的手法やスケジュールなどをできる限り明確に記載

1. 将来的に医療機器の実用化を達成するために必要な他の研究計画と当該研究計画の関係

* 将来的に医療機器の実用化を達成するために、同時に進める研究や今後行う研究についてどのような補完関係になるのかなど記載

1. 倫理面への配慮
2. 研究業績

(注) 本ファイルは研究計画書のサンプルです。サンプルであることを示すために、文字色を青にしています。作成の際には文字色を黒にして下さい。各申請者の研究内容に応じて、選考委員に研究の内容や意義・必要性が伝わるような研究計画書を作成して下さい。

# 研究費使用計画

※（様式3作成用エクセルファイル）研究費使用計画書.xlsxを用いて作成してください。

|  |
| --- |
| 直接研究費の使途の予定（概要）を研究計画と対応する形で記載して下さい。  見積書等の添付は不要です。  （様式3作成用エクセルファイル）研究費使用計画書.xlsxで作成された経費内訳をPDFにして他の様式ファイルと統合してください。 |

（例）



# 助成期間終了後の開発構想

|  |
| --- |
| 本助成期間終了後の次の開発段階における開発計画について、現時点の構想を1ページ以内（フォントサイズは10.5ポイント）にまとめて記載して下さい。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 所属機関名 | ○○大学○○研究科 |
| 申請者名 |  |

※履歴書・研究概要書に示した応募課題名等と一致していること

応募課題名（40文字以内）○○における○○○を目指した○○○○に関する研究

|  |
| --- |
|  |

本助成期間終了後の次の開発段階における開発計画について、最終的に目指している医療機器・技術、［応募タイプ］、［応募分野］との関係、本助成事業における成果見込みを踏まえた現時点の構想を記載して下さい。国等の補助事業への応募計画、企業との共同研究計画、起業、国際学会等への論文投稿、特許申請など、助成期間終了後3年間における開発計画を想定して下さい。

|  |
| --- |
|  |

(注) 本ファイルは助成期間終了後の開発構想のサンプルです。必ずしもこのファイルを使用する必要はありません。サンプルであることを示すために、文字色を青にしています。作成の際には文字色を黒にして下さい。各申請者の研究内容に応じて、選考委員に助成期間終了後3年間における開発計画が伝わるような構想を作成して下さい。